

特集 |

緩和ケアに求められる 役割と質保証



施設から在宅へというサービス提供の場の拡大，がん対策基本法の施行など，緩和ケアをめぐる環境が大きく変わろうとしている。早期からの緩和ケア，在宅や外来での緩和ケアなど，緩和ケアサービスが必要とされる時期や場所が多様化するなかで，その質を保証するための仕組みや人材育成，専門家の活用も重要な課題である。

本特集では，そうした流れも視野に入れながら，緩和ケアの本質と今後期待される役割，施設のあり方などについて，問題提起とともに整理する。緩和ケアについて看護管理者が何を知り，どのような意思決定をしているかなければならないのかを探りたい。